

〔長久手町業務評価票：平成16年度業務〕

課係NO・業務NO	- .	総合計画	1 - (4) -	処理場の増設
担当課・係名	浄化センタ - 管理 係 【問合せ・質問等の先(内線番号) 61 - 5300番】			

業務の名称	浄化センタ - 維持管理事業					
(1)根拠法令・条例	下水道法、水質汚濁防止法					
(2)当該業務量 (延人員規模含む)	総業務量の <u>70</u> % (係の総業務量を100%とする) 職員延人数： <u>594</u> 人・日 (臨時雇用者延人数： <u>0</u> 人・日)					
(3)事業費 (人件費分を除く)	<u>126,017</u> 千円(平成16年度決算)					
(4)補助率(補助金がある場合のみ記載)	<u>0.</u> % (平成16年度実績)					
(5)業務期間	開始した年度	平成8年度	終了(予定)年度	年度		
(6)業務の概要						
業務目的(達成目標)	<ul style="list-style-type: none"> 生活環境の向上を図ること 香流川を始めとする公共用水域の水質保全の安定的維持管理 					
業務が対象とする住民(地域、層)	公共下水道処理区に居住する住民					
業務の具体的な実施内容・方法 (平成16年度実績)	<ul style="list-style-type: none"> 水質分析の実施、機器運転・調整、機器のメンテナンス、水処理に伴い発生する汚泥の処理等を外部委託し、その業務内容についての指導、監督 水処理、汚泥処理で使用する各種薬品の購入 汚泥脱水ケ - キ処分業者との調整 機器修繕への対応 					
業務の実施結果 (平成16年度実績)	<ul style="list-style-type: none"> 法で定める放流水の排水基準の遵守に努めた 汚泥に、より最適な消臭剤を投入し、悪臭発生の抑制に努めた 					
	【業務結果の説明指標】					
	結果の説明指標		15年度	16年度	17年度	22年度
1						
2						
3						
4						
5						
業務の成果(業務目的の達成状況) (平成16年度実績)	生活排水等による香流川の汚れを防ぎ、身近な水辺の復活					
	【業務成果の説明指標：基本計画準拠】					
	成果の説明指標		15年度	16年度	17年度	22年度
1	1	供用開始区域人口(単位：人)	23,634	26,977		
2	2	放流水BOD値(単位：mg/l)	4.3	3.6		
3	3					
4	4					
5	5					

(7) 遂行上の問題点、取組課題

- ・ 汚泥処理、汚泥の搬出時に発生する悪臭への対策
- ・ 汚泥脱水ケ - キ量の増加への対応として凝集剤（薬品）の選定見直しの必要性

(8) 改善実績（過去3年間の実績）

- ・ 窒素、リン削減のため、エアレ-シオンタンクの運転方法を好気法から嫌気・好気法に運転方法を変更
- ・ 窒素、リン 24 時間自動測定装置の設置

(9) 業務の評価

評価基準	評価の視点	五段階評価 (5～1点)
目的の達成状況	業務目的に対して、どの程度の成果が得られているか。	4 点
コストパフォーマンス	成果を上げるために投入してきた人的資源、財源は、最適であったか。	4 点
業務方法の最適採用	業務の円滑で効率的な実施に採用した方法・手法は業務の目的、取り巻く状況に対応して最適であったか。	4 点
住民の満足・信頼獲得	受益する住民の満足、行政に対する信頼は高められたか。	3 点
総合計画との整合	総合計画（基本計画）の方針に対応しているか。	3 点
他都市との比較	近隣の都市、類似団体に比べて業務の進み具合はどうか。	4 点
		平均 3.7 点

(10) 総合評価

今後の方向 (該当番号に○印)	<ol style="list-style-type: none">1. 前年度と同じく、そのまま継続する。2. 見直して継続（業務の拡大）3. 見直して継続（業務の縮小） ・ 見直して継続（方法の改善）5. 見直して継続（他業務と統合）6. 廃止する。7. 休止する。
評価理由	浄化センター - への流入水量の増加に伴う汚泥脱水ケ - キ量の増加に対応する必要がある

(11) 今後の改善方針

- ・ 窒素、リン削減のため高度処理化を図る
- ・ 汚泥脱水ケ - キの含水率の低下（安定化）させることにより経費の削減を図る